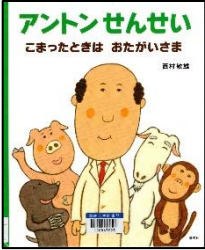
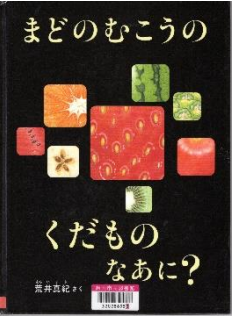
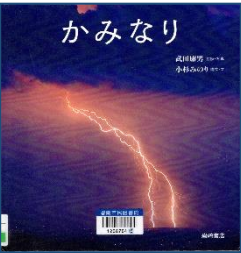
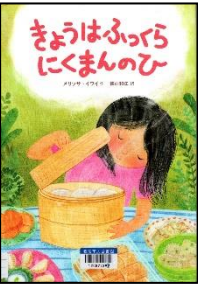


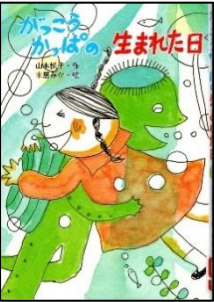
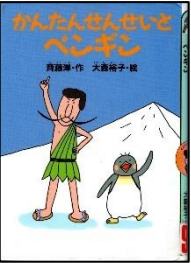
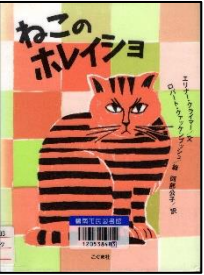
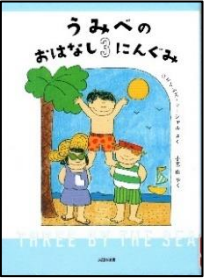
へきなんのとしょかんがすすめるなつやすみのほん

2024

(1・2年生向き)

『アントンせんせい こまったときはおたがいさま』 西村 敏雄／作 講談社 (E ア・ニ) いつもやさしいどうぶつのおいしゃさん、アントンせんせいは、どうぶつたちのにきものです。あるよる、あらしがやってきました。つぎの日のあさ、びょういんをあけると、そとはたいへんなことになっていて…!? 	『おすしがふくをかいにきた』 田中 達也／作 白泉社 (E タ・オ) おすしがふくをかいに、おみせにやってきました。おすしのふくというのは、たくさんのすしネタのことです。さて、おすしはなににへんしんするのでしょうか？ みぢかなものを、ほんものそっくりのなにかに見立てた、たのしいしゃんえほんです。 
『はっぱのほん』 いわさ ゆうこ／著 文一総合出版 (E イ・ハ) いつものみちや、こうえんで見かけのはっぱ。森に生えるしょくぶつのはっぱ。大きさ、かたち、たべられるもの、きけんなもの、いいかおりがするもの、あながたくさんあいたもの…。130 しゅるいのいろいろなはっぱを、イラストでくわしくしょうかいするえほんです。はっぱをつかったあそびもしょうかいされています。 	『まどのむこうのくだものなあに?』 荒井 真紀／さく 福音館書店 (E ア・マ) ページをひらくと、まん中に小さなまどがあります。そのまどから、大きくなががえがかれたくだものがすこしだけ見えます。なんのくだものかわかるかな？ しっているくだものも、見かたをかえただけで、なにかがうものに見えてくるふしぎなえほんです。 
『とってもすてきなうちです』 なかがわ ちひろ／文 高橋 和枝／絵 アリス館 (E タ・ト) じまんのわがやへようこそ。ちょっとこまったこともあります。ここがわたしのすてきなうちです。あり、ちょうちょ、くも、つばめ、ねこが、じぶんたちのすんでいるいえをしょうかいしてくれます。 	『かみなり』 武田 康男／監修・写真 小杉 みのり／構成・文 岩崎書店 (E タ・カ) おしあつひ。にゅうどうぐもが大きくなっかみなりぐもになります。そのなかではどんなことがおきているのかな？ じっさいは、いっしゅんできえてしまふかみなりのひかりを、しゃしんではっきりきれいにみることができまふ。 
『あつめる!はこぶ!せいそうしゃ』 片平 直樹／ぶん 岡本 よしろう／え 交通新聞社 (E オ・ア) まちをまわってごみをあつめてくれるせいそうしゃ。あつめたごみはどこにはこばれていくのかな？ ほかに、せいそうしゃにかんするいろいろなことをしょうかいします。 	『きょうはふっくらにくまんのひ』 メリッサ・イワイ／作 偕成社 (E イ・キ) おなじアパートにすむ6人のおばあちゃん、それぞれの国のりょうりをつくっています。でも、みんなざいりょうが一つ足りません。そこで、リリがかいだんをいったりきたりして、足りないざいりょうをとどけてあげるようになりました。 



『がっこうかっぱの生まれた日』 山本 悦子／作 市居 みか／絵 童心社 (913 ヤ・ガ) いけにすむ小ががっぱが「がっこうかっぱ」になるまえのおはなしです。小がっぱは、ちよという女の子と出あい、ともだちになります。でも、せんそうでちよのかぞくはもえてしまい、ちよは子どものいないおばさんにひきとられてしまうことになって…。 	『クッキーのおうさま』 竹下 文子／作 いちかわ なつこ／絵 あかね書房 (913 タ・ク) りさちゃんのおかあさんが、オーブンのふたをあけると「あち、あち、あちち!」とさけびながら、クッキーのおうさまがとび出してきました! クッキーのおうさまがだいかつやくするたのしいおはなし。 
『かんたんせんせいとペンギン』 斉藤 洋／作 大森 裕子／絵 講談社 (913 サ・カ) ペンギンのリゲルは空をとびたいとおもっていました。そこへ、かんたんせんせいがやってきて、たくさんのアイデアを出して、いろいろなとびかたをやってみせてくれたのです。リゲルは空をとべるようになるのかな？ 	『ねこのホレイショ』 エリナー・クライマー／文 こぐま社 (933 ク・ネ) ねこのホレイショは、かいぬしのケイシーさんにととてもたいせつにされていました。でも、ケイシーさんがホレイショいがいのどうぶつにもやさしくするのが気に入らなくて、ある日しかめつつらで、いえてしてしまいます。ほこりたかいおじさんねこのホレイショはどうなってしまうのでしょうか。 
『うみべのおはなし 3 にんぐみ』 ジェイムズ・マーシャル／さく 大日本図書 (933 マ・ウ) なかよし3人ぐみのローリー、スパイダー、サム。「あたし、じぶんでおはなしかいてるの。」と、ローリーが「おはなしノート」をひろげてよみはじめると、それをきいたスパイダーとサムも「ぼくならもっとおもしろいおはなしができるよ!」と、はなしはじめました。 	『コレットとわがまま王女』 ルイス・スロボドキン／作 瑞雲舎 (933 ス・コ) コレットのすむ町ガラスにポーリーン王女がやってきました。王女は、おばさんでふとっていて、おこりんぼでした。いしゃに、しずかなところで休むようにいわれた王女は、町を「ざつおんひとつないしずかさ」にするようにめいれいして…。 
『ふじさんにつぼんいち!』 ひさかたチャイルド (2917) ふじさんはにつぼんいちたかい山。ふもとはいろいろないきものがいたりめづらしい草が生えていたりするけどもとのぼっていくとどうなるのかな？ 	『2 だいまめびょういんきんむくモリスのでばんです!』 若月 としこ／作 岩崎書店 (490ニ) いしゃやかんごしたちのように、かんじゃのちりょうをたすけるびょういんきんむくのモリス。モリスのおしごとは、かんじゃさんのふあんをやわらげたり、ちりょうにまねむきなきもちにさせたりすることです。モリスのかつやくのようすをしょうかいします。 